

第一学年〇組 国語科学習指導案

指導者 福岡市立〇〇中学校 〇〇〇〇

単元名 「〇〇中学校を紹介しよう」

一 指導事項

第一学年 「B書くこと」イ

伝えたい事実や事柄、課題及び自分の考えや気持ちを明確にすること。
言語事項(1)ウ

事象や行為などを表す多様な語句について理解を深めるとともに、話や文章の中の語彙について関心をもつこと。

二 単元の評価規準

ア 国語への関心・意欲・態度	イ 書く能力	ウ 言語事項
①伝えたい内容を明確にしようとしている。 ②事象や行為などを表す語句について理解しようとしている。	①相手・目的に応じて、伝えたい事実や事柄、課題を明確にしている。 ②自分の考えや気持ちを明確にしている。	①事象や行為などを表す語句について理解している。

三 単元について

○ 本単元の指導事項として、第一学年 B書くこと イ「伝えたい事実や事柄、課題及び自分の考えや気持ちを明確にすること」、言語事項(1)ウ「事象や行為などを表す多様な語句について理解を深めるとともに、話や文章の中の語彙について関心をもつこと」が位置づけられる。本単元では、小学六年生に対して〇〇中学校を紹介するパンフレットを作成するための準備の段階として、集めた題材を整理・分類する活動を行う。この活動の中で、相手・目的に応じて、自分の伝えたい事実や事柄、課題及び自分の考えや気持ちを明確にする力をつけることができるようになることを考える。

○ 生徒は、一学期に単元「読書感想文を書こう」で、『さつき』を読んで感想文を原稿用紙にまとめる活動を行っている。ここでは、表記の仕方や語句の使い方、叙述の仕方を学習し、話し言葉と書き言葉の違いを理解したり、原稿用紙の使い方を習得したりすることを目指した。活動後の自己評価から、原稿用紙に書くことに対して、意欲的に取り組めたことがうかがえた。しかし、診断シートの「文章を書くときに難しいと感じることは何ですか」という問いに対しては、次のような項目を挙げる生徒が多かった。(解答総数32名)

「書く内容を探すこと」(44%)

「思い浮かべた内容を、どのような構成で書いたらよいか考えること」(59%)

「体験したことを言葉で表現すること」(50%)

「自分の考えや気持ちを言葉で表現すること」(47%)

このことから、読み取ったことや自分の感じたことを整理して書いたり、どのような言葉を使って表現すればよいかを考えたりすることが、次の課題となる生徒が多かった。

○ 以上の点から、「自分の伝えたい考えや気持ちを明確にすること」、「集材した事実・事柄・課題を整理・分類し、選ぶこと」の力を育てるための単元「〇〇中学校を紹介しよう」を設定した。指導にあたっては、まず、〇〇中学校を紹介するとしたらどのような内容が挙げられるかを考えさせる。生徒たちは様々な内容を挙げると予想されるが、その内容を挙げた理由を発表させ、書く内容を明らかにするには、相手・目的を意識することが必要となることを認識させる。その後、相手と目的は、「今の小学六年生に、中学校に対しての不安を少なくし、前向きな気持ちで入学してもらうため。」ということに焦点化させる。次に、そのテーマに沿って題材を集め、付箋に書き出させる。そして、書き出した題材から、「自分の関心度」と「相手にとっての重要性・必要性」とを加味しながら、どれを選ぶか考えさせる。最後に、相手・目的に応じて、適切な題材を選ぶことができているかを振り返らせ、伝えたい事実や事柄、課題及び自分の考えや気持ちを明確にする力を身につけさせたい。

また、この単元終了後、別の単元として、「〇〇中学校紹介パンフレットをつくらう」を設け、本単元で選んだ題材を元に、全体の構成を考えたり、各項目についての詳しい記述の仕方を学んだりする学習を行いたいと考えている。

四 単元の指導計画・評価計画

指導事項 言語事項	1年Bイ (1)ウ	伝えたい事実や事柄、課題及び自分の考えや気持ちを明確にすること。 事象や行為などを表す多様な語句について理解を深めるとともに、話や文章の中の語彙について関心をもつこと。
--------------	--------------	---

単元の評価規準

- 伝えたい内容を明確にしようとしている。
- 事象や行為などを表す語句について理解しようとしている。
- 相手・目的に応じて、伝えたい事実や事柄、課題を明確にしている。
- 自分の考えや気持ちを明確にしている。
- 事象や行為などを表す語句について理解している。

配時	具体的評価規準 (評価の方法)	学習活動(言語活動)	指導上の留意点	(関心・意欲・態度)	(話す・聞く、書く、読む、知識・理解・技能)	
					おおむね満足できる状況【B】	十分満足できる状況【A】
1	関:○○中学校を紹介する内容を、進んで考えようとしている。 (発表チェック) 書:相手・目的を意識して書くことの大切さを感じている。(自己評価表分析)	1 学習のねらいや流れを確認する。 2 ○○中学校を紹介するための内容を考える。 3 伝えたい内容を考えるときに大切なことについて考える。	・初めは、相手・目的を示さずに考えさせる。 ・相手と目的は、「今の小学六年生に、中学校に対しての不安をなくし、前向きな気持ちで入学してもらうため。」ということに焦点化させる。	・伝えたい内容を進んで発表している。	・伝えたい内容を考えるときに大切なことを挙げている。	・伝えたい内容を考えるときには、相手と目的を意識することが大切だと記述している。
					☆Cの状況の生徒への手だて 「○○中学校の一番すごいと思うところはどこか」という問いかけをする。	
2	言:事象や行為を表す語句について理解している。 (ワークシート1分析) 書:相手・目的に応じて題材を分類・整理するときの視点について考えている。(発表チェック)	4 グループごとにテーマを設定し、具体的にどのようなことを書くか題材を集めて、付箋に書き出す。 5 書き出した題材を分類・整理するときの視点について考える。	・付箋の書き方の例を示す。 ・小学6年生の「児童意識調査今心配なこと」の結果を提示し、参考にさせる。 ・前時の学習を振り返り、「自分の関心度」と、「相手にとっての重要性と必要性」という視点で考えさせる。	・題材を多く集め、付箋に書いている。 ・分類・整理するときの視点について考えようとしている。	・テーマをもとに、題材を挙げ、付箋に書いている。 ・自分の関心度という視点を挙げている。	・テーマをもとに、題材を挙げ、具体的に付箋に書いている。 ・自分の関心度と、相手にとっての重要性と必要性という視点を挙げている。
					☆Cの状況の生徒への手だて グループでの話し合いにを参考にさせる。	
1 本時	書:テーマをもとに、相手・目的に応じて、伝えたい題材を分類・整理している。 (ワークシート2分析) (振り返りシート分析)	6 自分の付箋を分類・整理し、パンフレットに書く題材を選ぶ。 7 グループで互いのワークシートを交換し、テーマをもとに、相手・目的に応じて分類・整理して題材を選んでいるか意見交換を行う。	・前時に考えた分類・整理の仕方を意識させる。 ・自分のテーマ、考えや気持ちを確認させる。 ・付箋の拡大版を用意し、表を使っての分類・整理の仕方の見本を示す。 ・助言の仕方、話し合いの進め方を示す。	・表を用いて、進んで伝えたい題材を分類・整理している。 ・他の生徒に、整理の視点に沿って助言をしている。	・表に従って、テーマをもとに、相手・目的に応じて題材を分類・整理している。	・自分の伝えたい内容が明確になるように、テーマをもとに、相手・目的に応じて題材を分類・整理している。
					☆Cの状況の生徒への手だて 自分の関心度を中心に考えさせる。	
1	書:伝えたい事実や事柄、課題及び自分の考えや気持ちを明確にしている。 (ワークシート分析2)	8 前時のグループでの話し合いをもとに、再度自分の分類・整理の仕方を振り返り、パンフレットに書く内容を決める。 9 伝えたい内容が明確になっているかを振り返らせる。	・選んだ題材の付箋を別の用紙に移し、他のグループと交換させ、テーマが何かを考えさせる。 ・題材の集め方だけでなく、自分の考えや気持ちを分かりやすく記述することの必要性に気付かせる。 ・別単元でパンフレットづくりを行うことを予告する。	・自分のワークシートを見て、伝えたい内容が明確になっているかを振り返り、感想を書いている。	・伝えたい事実や事柄、課題及び自分の考えや気持ちを明確にしている。	・相手・目的に応じて、伝えたい事実や事柄、課題及び自分の考えや気持ちを明確にしている。
					☆Cの状況の生徒への手だて 自分のテーマと比較させ、考えさせる。	

単元「〇〇中紹介パンフレットを作ろう」

配時	具体的評価規準 (評価の方法)	学習活動(言語活動)	指導上の留意点	(関心・意欲・態度)	(話す・聞く、書く、読む、知識・理解・技能)			
					おおむね満足できる状況【B】	十分満足できる状況【A】		
3	<p>書:相手・目的に応じて、伝えたい内容を明確にして、パンフレットを書いている。 (レポート用紙分析)</p> <p>関:伝えたい内容を明確にして書くことの重要性を実感している。 (自己評価シート分析)</p>	<p>1 整理した付箋を元に、全体の構成を考え、内容を具体的に記述しながら下書きをする。</p> <p>2 下書きを元にレポートを完成させる。</p> <p>3 学習を振り返る。</p>	<p>・パンフレットのまとめ方の参考として、2年生の作品(好きな作家を紹介したもの)を提示する。</p> <p>・評価表を使って振り返りをさせる。</p>	<p>・内容やレイアウトを工夫しながら、パンフレットを書いている。</p> <p>・伝えたい内容を明確にして書くことの重要性を実感している。</p>	<p>・相手・目的に応じて、伝えたい内容を明確にして、パンフレットを書いている。</p>	<p>・相手・目的に応じて、伝えたい内容を明確にして、具体的に出来事や気持ちをパンフレットに書き表している。</p>		
					<p>☆Cの状況の生徒への手だて 付箋に書いた内容を、より詳しく書くように指示する。</p>			

- 1 本時の具体の評価規準・評価方法
 - 開 伝えたい題材を、進んで分類・整理しようとしている。
 - 書 テーマをもとに、相手・目的に応じて、伝えたい題材を分類・整理している。

2 資料等

- ①自己評価表 ②掲示用紙 ③表と付箋の拡大版 ④ワークシート1 ⑤ワークシート2
- ⑥付箋 ⑦振り返りシート

3 本時の指導計画・評価計画

過程	学習活動・内容 [主な言語活動]	指導上の留意点	資料	Aの状況・Bの状況 Cの状況の生徒への手だて	形態	配時 (分)
導入	一・前時の学習を想起し、 本時の目標を確認する。 題材を整理・分類しよう。	○ 前時に考えた本時の 目標を確認させる。 ○ 前時に考えた相手・ 目的に応じた題材の整 理の視点を黒板に掲示 し、復習する。	② ①	A 自分の伝えたい内容が 明確になるように、テ ーマをもとに、相手・目的 に応じて題材を分類・整理 している。 B 表に従って、テーマを もとに、相手・目的に応じ て題材を分類・整理して いる。 C 自分の関心度を中心 に考えさせる。	一斉 個人	8
展開	二・表に従って、付箋を移 動し、パンフレットに書く 題材を選び、〇印をつける。 ・テーマ ・自分の関心度 ・相手にとっての 重要性・必要性	○ 付箋の並べ方の例を 示す。 ○ グループ内でワーク シートを交換し、助言 を書かせる。 ○ 書き終わった後に、 意見交換をする時間を 設ける。	⑥ ⑤ ④ ③	関表を用いて、題材を分 類・整理しようとしてい る。 関他の生徒に、整理の視 点に沿って助言をしてい る。	一斉 個人	15
まとめ	三・グループごとに、表を 見比べて、選んだ題材が、 テーマをもとに相手・目的 に応じたものになっている か意見交換を行う。 四・本時のまとめ、次時の予 告を聞き、本時の自己評価 を書く。	○ 本時を振り返り、自 己評価と感想を書く。 次時は、最終的に選ぶ ものを決め、それを見 ながら、まとめを行う ことを予告する。	⑦ ①		個人	7

〇〇中学校を紹介しよう

ワークシート1

() 組

名 ()

)

伝えたいこと

〇〇 中学校を紹介するとしたら

伝えたいことを考えるときに大切なこと

--	--	--	--

< >

< >

Large dashed border area for writing.

伝えたいこと

☆〇〇中学校を紹介するとしたら

- ・ 四小学校から集まる
- ・ 人数
- ・ 校
- ・ 行事
- ・ 部活
- ・ テ
- ・ ト
- ・ 会、生徒会活動
- ・ み時間

☆伝えたいことを考えるときに大切なこと

- ・ 相手をはっきりすること。
- ・ 何のために書くのかをはっきりすること。

目的	中学校に対しての不安を少なくし、前向きな気持ちで入学してもらうため。
----	------------------------------------

< テ マ >

< 自分の伝えたい考え・気持ち >

相手

--

板書計画

二時

目標 題材を探し、付せんに書こう。

① グループでテーマを決める。

例 ・ 中学校のよいところ

・ 中学校の しいところ

・ 小学校との違い

・ 中学校生活を する上で大切なこと

② そのテーマの元に、どのような考え・気持ちを伝えたいのかを記入する。

③ 題材を探し、付せんに書く。

書き方

・ 番号を書く。

・ 項目を書く。

・ 伝えたい内容を簡潔に書く。(一文か二文)

・ ひとつの項目に対して 多くても二つか三つ。

①
〈行事 (体育大会)〉
ブロックが団結して競技や応援に取り組み、感動しました。

②
〈部活動〉
卓球部は、みんな仲良く和気あいあいと活動していま

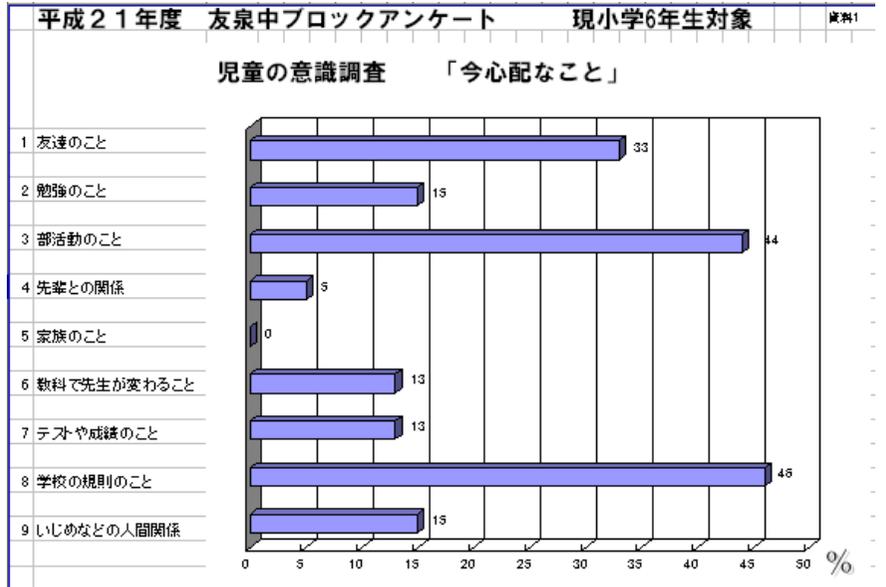
③
〈部活動〉
卓球部の顧問の先生は、とても美しくて優しいです。

板書計画

三時

- ④ 題材の選ぶときに考えること
- ・ テーマに沿った内容かどうか。
 - ・ 自分はどう伝えたいか。
 - ・ 相手はどれを知りたいか。

整理・分類する



目標 伝えたい題材を整理・分類しよう。

☆題材の選ぶときに考えること

- ・ テーマに沿った内容かどうか。
- ・ 自分はどう伝えたいか。
- ・ 相手はどれを知りたいか。

学習の進め方

その一

- ① 表に従って題材を整理・分類する。
- ② 選んだ題材に○印をつける。

(学年) (学年) (学年)		(学年)		
自分の関心度				
小学大生にどこでの 卓球部 卓球部 小学生	② (部活動) 球部は、みんな 良く和気あいま と活動していま	A	B	C
	① (行事) 球部は、みんな 良く和気あいま と活動していま	D	E	F
	③ (部活動) 球部の顧問の先 は、とてもきれ で優しいです。	G	H	I
(学年)				

その一
 ① 助言を書く。
 ・ 位置の移動
 ・ ○の付け替え
 ・ 内容の補足
 ② 意見交換を行う。
 ・ 助言相手への質問
 ・ 助言を書いた理由の明

〇〇中学校を紹介しよう

ワークシート2

☆伝えたい内容を整理・分類しよう。

() 組 名 ()

(テ マ 以)

グ ル プ の 人 か ら の 助 言

() より
○ は () へ ○ は () へ

() より
○ は () へ ○ は () へ

() より
○ は () へ ○ は () へ

〇〇中学校を紹介しよう

() 組

名 ()

()

振り返りシート

小学六年生にとっての重要性・必要性

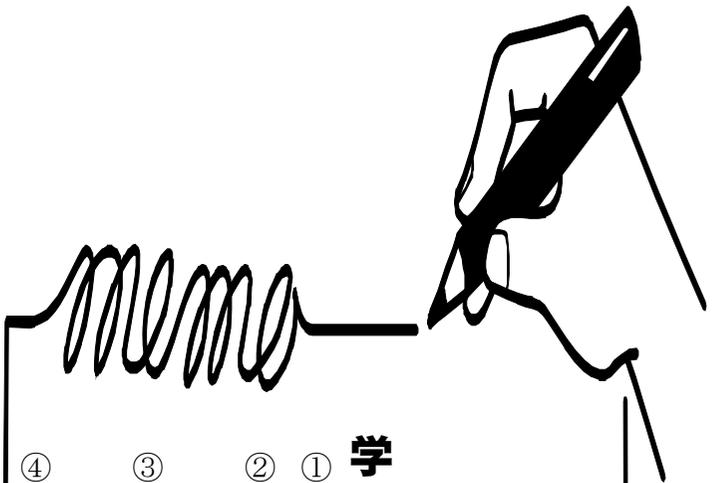
		自分の関心度		
		大	中	小
大	A			
	B			
	C			
中	A			
	B			
	C			
小	A			
	B			
	C			

〈相手〉
今の小学6年生

〈目的〉中学校に対しての不安を少なくし
前向きな気持ちで入学してもらうため。

〈テーマ〉

〈自分の伝えたい考え・気持ち〉



学習の流れ

- ① 学習目標を確認する。
- ② 伝えたいことを考えるときに大切なことについて考える。
- ③ テーマを設定し、紹介したい題材を挙げる。
- ④ 伝えたい題材を（ ）。
- ⑤ 伝えたい題材を選ぶ。



自己評価

4

⑥ まとめ

いできた 2 あまりできなかった 1 できなかった

よくできた 3 だいた

- | | | | | |
|---|------------------------------|---|---|---|
| 1 | 相手・目的を意識して内容を分類・整理することができたか。 | (| 4 |) |
| 2 | グループで相手に助言をすることができたか。 | (| 4 |) |
| 3 | 伝えたい内容をはっきりすることができたか。 | (| 4 |) |

学習を振り返っての感想

☆伝えたい内容をはっきりさせることについて感じたことを書こう。

A

今日の学習で

B

ということが分かった。

〈相手〉 今の小学6年生		〈目的〉 中学校に対しての不安を少なくし 前向きな気持ちで入学してもらうため。			他のグループの人からの 評価
〈テーマ〉					
〈自分の伝えたい考え・気持ち〉					
自分の関心度					
小学六年生にとっての重要性・必要性	大 中 小	大			「
		A	B	C	」 という考えや気持ちが変わってきました。 ()より
		中			「
		小			」 という考えや気持ちが変わってきました。 ()より
自己評価					
4…よくできた 3…だいたいできた 2…まあまあできた 1…できなかった					
①テーマに沿って題材を選ぶことができた。(4 3 2 1)					
②自分の関心度を考えることができた。(4 3 2 1)					
③相手にとっての重要性・必要性を考えることができた。(4 3 2 1)					
④伝えたい内容をはっきりすることができた。(4 3 2 1)					
〈単元を振り返って分かったこと・感想〉					

☆伝えたい内容をはっきりすることができたか振り返ろう。

☆題材を選ぶときに考えること

- ・ テーマに沿った内容か
- ・ 自分はどれを伝えたいか
- ・ 相手はどれを知りたいか

へその一〇個人

- ① 題材を整理・分類する。
- ② 選んだ題材に〇印をつける。

へそのニくグループ

① 助言を書く。

- ・ 位置の移動
- ・ ○の付け替え
- ・ 内容の補足

② 意見交換を行う。

- ・ 助言の補足
- ・ 助言相手への質問

〈書き方〉

- 番号を書く。
 - 項目を書く。
 - 伝えたい内容を簡潔に書く。
- (一文か二文)
- ひとつの項目に対して、多くても二つか三つ。

〈その三〉個人

①付箋の位置を移動した方が良いと思つたところを貼り替える。

②付け加えた方がよいと思つた内容があれば、赤い付箋に書き、貼る。

③最終的に選んだものには、☆印をつける。